

音声拡大読書器を図書館に

民放TVチャリティ委員から贈呈

櫻井立志議員(公明党)

①視覚障がい者のため、市庁舎窓口で活字文書読み上げ装置の設置及び、音声コード等の普及を促進してはどうか。

保健福祉部長 現在のところ、職員が直接対応をしているが、機器利用については利用者のニーズに即して対応していきたい。音声コードについては、文字数の制限など難しい面もあるが、可能なところから、段階的に進めていきたい。

②中央図書館への音声拡大読書器の導入を図り、視覚に障がいを持つ方たちにも、安心して読書に親しんでもらえるようにすべきと考えるが。

教育部長 昨年末に、民放テレビ局の番組が行っている視覚障害者支援事業として、機器の贈呈事業へ応募していたところ、先日、本市図書館が選ばれ、音声拡大読書器

などの機器の贈呈が決定。近々、設置の予定である。

③市が実施する介護保険住宅改修費助成事業は、

保健福祉部長 手続き上の複雑な問題も考えられ、現時点では導入を考



中央図書館に導入された音声拡大読書器

いったんは全額負担の償還払い制度になっているが、利用者の負担軽減のため、限度額の一割負担で済む受領委任払い制度を導入すべきと考えるが。

保健福祉部長 医療情報キットを配布する自治体が全国に増えていると聞く。本市の災害時要配慮者避難支援計画の中で、支援の一環として研究していきたい。

事例等、今後研究したい。

④災害時に迅速な救命活動が行われるように、要配慮者支援のため、救急医療情報キットの無料配布をしてはどうか。

保健福祉部長 医療情報キットを配布する自治体が全国に増えていると聞く。本市の災害時要配慮者避難支援計画の中で、支援の一環として研究していきたい。

⑤第二京阪道の高速バス利用者のために、送迎用車両の路上駐車問題及び、交通安全対策について、駐車スペースを設けるなど、改善に向けた検討をされたい。

建設部長 今後、バス会社、京阪電鉄など関係機関と協議していきたい。

田辺中学にハンド部設置を 実現にむけ努力したい

①市内3中学校のうち田辺中学校だけハンドボール部がない。せっかく小学校で取り組んできた



練習に汗を流す子どもたち(新小学校)

塩貝建夫議員(共産党)

の他にクラブを選ばなければならぬのは残念だという子ども、保護者の声がある。ぜひ来年度から田辺中にハンドボール部を設置してもらえないか。

教育部長 中学校では

改築工事の進展、既存部活動の活動状況を踏まえ、実現に向け努力したいという意向であり、教育委員会としても学校と十分に協議し、実現に向けた取り組みを図っていききたい。

②4月1日からバスダイヤの変更が行われた。一休ヶ丘住民にとっては平日4便が減らされ、新田辺駅行き直通のバスの便が悪くなった。新交通バス体系整備と引き替えに「赤字路線」は廃止撤退するという、民間バス会社の意向に沿ったものである。「バス問題検証委員会」で、以前より利便性が低下したところに対する改善策を検討されたい。

市長 検証委員会は、今後の乗車実態を見ながら、ルートや運行時間帯等が妥当なものか検証すると同時に、バスの利便性についても検討することになっている。いろいろな意見は言って頂ければ

十分参考にしながら検証していきたい。

③手原川堤防の道路拡幅、歩道設置時期、道路の完成をめざして事業を進めていきたい。道路延長は180m、道路幅員6m(車道4m、歩道2m)を考えている。

④教職員の勤務実態調査結果から、中学校においては、その最大の問題が「部活動」によるものである。超過勤務是正の計画、方針について問う。

教育長 部活の現状について、関係者間で交流

①木津川市などのように市長の交際費と使途、使途基準をホームページで公開するべきだ。公的な出費と選挙応援など個人的な支出には明確な線を引くべきだし、そのことが市民の市への信頼につながると思う。

市長 できるだけ早い時期に公表していきたい。

②今年の9月に子ども

中学校給食の実施を 学校給食推進委で議論

増富理津子議員(共産党)

①暮らしが厳しくなる中で、高い国民健康保険税や医療費の支払いがで

いる。医療機関の窓口での支払いを、減免や徴収猶予ができる一部負担金減免制度の周知を強め、利用基準の拡充整備を。また保険証未交付世帯の実態と対策は、払える保険料額への引き下げを。

市民部長 窓口減免制度利用は19年度に1件。国の制度基準が8月頃示される。対応については今後検討。周知は図る。保険証未交付は2007世帯。そのうち高校生世代以下の子どもがいる世帯には、6カ月以上の保険証を郵送する。保険税の引き下げは困難。

②中学校給食は、全国

で85・8%の自治体で実施。法律で努力義務と位置づけられたのは半世紀以上前。義務教育として栄養指導、生活指導の面からも、成長期の子どもの心身の発達保障をしていくためにも学校教育の責務である。いろいろな事情でお弁当を用意できない家庭もあり、多くの保護者は給食を希望している。中学校給食の実施を。

教育部長 給食実施する予定はない。「学校給食推進委員会」の中で議論する。

③介護保険サービスについて、買い物や散歩の



食育として大切な学校給食(桃園小学校)

児童虐待への取り組みを 防止マニュアル作成する

次田典子議員(無所属ネット)

①木津川市などのように市長の交際費と使途、使途基準をホームページで公開するべきだ。公的な出費と選挙応援など個人的な支出には明確な線を引くべきだし、そのことが市民の市への信頼につながると思う。

市長 できるだけ早い時期に公表していきたい。

②今年の9月に子ども

的に啓発すべきだ。教育委員長 これからも具体的に研究していききたいと思っている。

③関西空港行きのバス

を確保できないか検討する。

④高齢者のバス利用補助をして、バスの乗車率の改善とお年寄りの外出支援を図ってほしい。

保健福祉部長 今後の研究課題としていく。

⑤児童虐待が市内でも増加している。市としての課題は何か。

保健福祉部長 昨年度の取扱件数は疑いも含め101件で育児放棄と思

停を整備し、一部バスを松井山手駅ロータリーに停車させて、アクセスの改善をするべきだ。また送迎車の停車帯の確保を。安心まちづくり室長

高齢者や障がい者も利用しやすいパーキングエリアとするために関係機関と協議していきたい。

⑥市役所授乳室を早急に設置すべきだ。

総務部長 何とか場所を確保できないか検討する。

⑦図書館を、せめてスーパーの夜8時まで開館し、仕事や学校の帰りに利用できるようにするべきだ。

教育部長 直接市民からの要望はないが、ニーズを把握してサービス拡大について検討していく。



深刻な児童虐待に対応する 宇治児童相談所